

鹿児島県公立高校入試徹底分析【社会】

【形式・難易度】

試験時間	50 分	配点	90 点
問題構成	大問3題。地理・歴史・公民の分野ごとに大問各1題ずつ。各分野、ほぼ均等配点。 2023年、問題量が6ページ分から10ページ分へと大幅に増加した。 2024年、2015年から出題されていた思考型の論述問題（中間Ⅲ）がなくなったが、論述問題は例年通り出題されている。 大問1 地理分野（31点）：Ⅰ 世界地理（16点）Ⅱ 日本地理（15点） 大問2 歴史分野（31点）：Ⅰ 古代～近世（15点）Ⅱ 近代～現代（16点） 大問3 公民分野（28点）：Ⅰ 政治分野（15点）Ⅱ 経済分野（13点）		

	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)	令和2年度(2020)
問題量（A4で）	10 ページ分	10 ページ分	6 ページ分	6 ページ分	6 ページ分
小問数	41 問	40 問	43 問	40 問	41 問
論述問題の数	11 問	11 問	9 問	10 問	13 問
論述問題配点	30 点	34 点	21 点	26 点	33 点
受験者平均点	49.4 点	51.5 点	53.1 点	51.2 点	48.4 点

【出題の傾向と対策】

- ① 各分野、基本的な問題が多数出題される。社会の語句は、内容まで理解しておくといよい。

R6 ③ I

3 ③ C に関して、医療の分野で、患者が病気について医師から説明を受け、理解してから治療を受けるかどうかを選択できることを何というか、カタカナで答えなさい。

① 基本的な内容を問う問題が多いが、正答率が低い（38.1%）問題も存在する。
確実に得点することが重要。

- ② 論述問題では、図・写真などの資料を参考に、それらを活用する思考型論述問題が出題される。問題文をしっかりと読み取り、論理的に考え、条件をもとに解答する練習が必要である。

R6 ① I

6 略地図中のマレーシアやその周辺諸国では、資料3のような私たちの身の回りでよく使われている製品の原料となるパーム油が生産され、主要な輸出品となっています。しかし、生産や輸出が増加することで、ある問題がおきています。どのような問題がおきていますか。パーム油の原料となる植物名を明らかにしながら、資料4からわかることを解答欄に合わせて説明しなさい。

② 資料4を見て、土地開発により森林が減少していることを読み取る。また、条件となっている「パーム油の原料となる植物名」を明確にしなければならない。この「パーム油の原料」が「油やし」であることを書けなかった受験生が多くいると推測できる。しっかりした基礎知識と資料を正確に読み取り、思考する問題である。鹿児島県はこのような出題が多くなっているため、類似問題で訓練を重ねておこう。

資料3



資料4 パーム油の原料となる植物の農園開発の様子



- ③ 歴史分野は、並べ替えの問題や時代判別問題がほぼ毎年出題される。年号やできごとの順をしっかりと覚えておくとともに、時代ごとに内容を整理して覚えておくとうい。

R6 ② I

- 3 ⑥に関する次のできごとを年代の古い順に並べなさい。
 ア 足利義満は、明との間で、勘合を利用した日明貿易を始めた。
 イ 宋銭が日本に輸入され、市での売買や年貢の納入で用いられるようになった。
 ウ 邪馬台国の女王卑弥呼が魏へ使いを送り、「親魏倭王」の称号や銅鏡などを得た。
 エ 鑑真が、何度も遭難しながらも来日して、唐の仏教を伝えた。

ア：1404年 (室町時代)
 イ：1167年 (平安時代)
 ウ：239年 (弥生時代)
 エ：753年 (奈良時代)

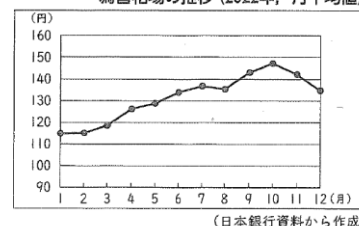
- ④ 公民分野は、資料問題が多く出題されるので、資料を活用して考察する力が必要になる。特に知識を活用する内容が多い傾向があるので、整理して理解しておくとうい。

R6 ③ II

- 5 ひろさんは、㉔について学習したことの一部を下のようにまとめました。X, Y にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを選びなさい。

私たちの生活は、商品を通じて、さまざまな国の人々の生活とも深く関わっている。資料2を見ると、2022年において最も円安なのは、X である。グローバル化する経済社会に生きる私たちは、環境や人権、社会倫理に配慮した商品・サービスを選ぶ消費活動、いわゆる Y を心がけることが必要である。

資料2 アメリカドル(1ドル)に対する円の為替相場の推移(2022年、月平均値)



- ア (X 1月 Y エシカル消費)
 イ (X 1月 Y 大量消費)
 ウ (X 10月 Y エシカル消費)
 エ (X 10月 Y 大量消費)

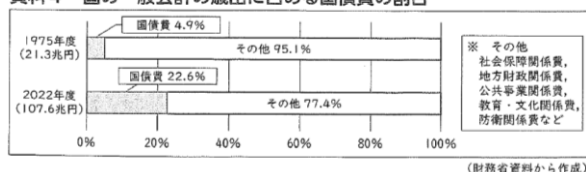
- ④ 資料2より、1月と10月のどちらが円安なのか判断し、さらに、「社会倫理に配慮した商品・サービスを選ぶ消費活動」より、エシカル係を選択する問題。基礎知識を持ち活用する力が必要となる。

- ⑤ 論述問題は、例年、指定語句・字数指定・穴埋め形式があるので、一つ一つ確認して論述すること。

R6 ③ II

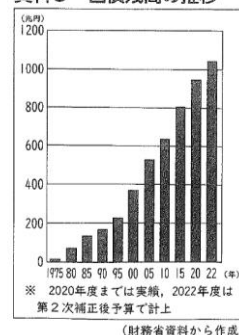
- 6 生徒たちはこの話し合いのあと、「日本における財政の課題」をテーマにして討論を行う準備をしました。その中で、まことさんは、資料3、資料4をもとに国債を発行することによって財源を確保することの問題点についてまとめました。そのまとめの内容を、国債を発行することによる国民の負担、国債費とその他の歳出の割合の変化に着目して60字以上80字以内で書きなさい。

資料4 国の一般会計の歳出に占める国債費の割合



- ⑤ 資料3からは、国債残高が増加し後世の負担が増すこと、資料4からは、国債費の割合が増加し他の予算を圧迫していることを読み取り、60字以上80字以内でまとめる難問である。

資料3 国債残高の推移



解答

R6 ③ I 3 インフォームド・コンセント

R6 ① I 6 (パーム油の原料となる)油やしを栽培するために開発を進め、森林が減少していく問題がおきている。

R6 ② I 3 ウ → エ → イ → ア

R6 ③ II 5 ウ

R6 ③ II 6 国債の残高が増加することでその返済の負担を後の世代の人々にますます負わせてしまうことと、国の歳出に占める国債費が増加することで他の予算を圧迫すること。(75字)